

SCUの仕事 — 双方の選手・チームがフェアにプレイできるよう試合をコントロール

試合前 — 早めにコートに行く(10 分前)

・持物をチェックする

* ストップウォッチ、メジャー、スコアカード、鉛筆2本、トス用のコイン、試合球、セットボール、他。コートバッグがあると便利。スコアカードにあらかじめ記入できることはコートに出かける前に書き込んでおく。

・早めにコートに行き、コートの準備をする

* シングルススティックの位置(ダブルスはシングルススティックを外す)、ネットの高さを確認し、選手用イスの位置も確認する。選手用イスは審判台と同じサイドに置く。ゴミがあれば排除。ボール缶を空ける。スコアカード、他、は審判台に乗せておく。ストップウォッチは首から下げずにポケットに入れておく。(IDは外す)

選手が到着したらさりげなく服装やロゴチェックをし、ここで選手の名前を確認してもよい。

・プレマッチミーティング

* 選手が集合したらボールを持ってネットの中央まで行き、審判台の方を向いて選手が来るのを待つ。選手がそろったらプレマッチミーティングを行う。プレマッチミーティングでは、試合フォーマット(例:8 ゲームプロセット)、ボール使用数、SCUのやり方、を手短かに話してからコイントスをする。トスの勝者、敗者ともがサーブ、レシーブ、あるいはエンドの選択をしてからコインを拾い、ボールを手渡す。2 球使用なら双方に 1 球ずつ渡す。プレマッチでは挨拶や自己紹介はしない。リラックスしながらも毅然とした雰囲気を出そう。

・ウォームアップ

* ボールを打った瞬間にストップウォッチを押し、速やかに審判台に上がる。スコアカードにトスの勝者、何を選んだかを記入し、どの選手がどちらのエンドからサーブするかも記入しておく。その後ボールに目を慣らす。残り時間 30 秒くらいで選手紹介をする。

* * 3 分のウォームアップの場合、1 分経過(残り時間 2 分)で「2ミニッツ」、2 分経過(残り時間 1 分)で「ワンミニット」と大きな声でアナウンスする。3 分経過したら「タイム」とアナウンスする。

・試合開始

* サービスの前には必ずレシーバーを見る(レシーバーチェック)

* ポイントが終わったら、まずポイントを失った選手を見る(ルーザーチェック)。その後大きな声ではっきりとスコアを言ってからスコアカードに記入する。(選手はきわどいジャッジの後は確認のために主審を見ることがあるので、主審もルーザーを見ると一種のコミュニケーションができて信頼される)

* ポイント間は20秒だが、レシーバーはサーバーのペースに合わせる。必要以上にサーバーを待たせてはいけない。(タイムバイオレーションの対象になる) チェンジエンド前のゲームが終わった時は、ポイントが決まった瞬間にストップウォッチを押し。60 秒経過したら「タイム」とアナウンスする。15 秒たってもベンチに座っていたら「15セカンズ(あと15秒)」という。

* 明らかなミスジャッジはオーバールールする(例:「コレクション、ボールワズグッド Correction, the ball was good」)。オーバールールされた選手は失点する。

* インプレイ中に隣のコートからボールが侵入してきたら「レット」とコールしてプレイを止める。場合によってはノーレットにする。(例:ボールが侵入してきたので思わず「レット」とコールしたが、コールする前に打たれたロブがコールと殆ど同じタイミングでアウトになった。「レット」の前に打たれたボールは“妨害を受けていない”ことになるので、ポイントのやり直しにはならない)

* ポイント終了後に、侵入してきたボールがコート上にあるのを見つけても、レットにはならない。

* 「レット」や「ネット」は主審しかコールできない。選手が誤ってコールした場合は

①そのコールで試合が止まったら、コールした選手の失点

②コールにかかわらず試合が進行してポイントが終わったら、そのポイントは成立する。

③そのコールに相手選手も同意し、やり直しに同意すれば、レット、またはネットとしてやり直す。

* サービスの前に隣のコートからボールが侵入してきたら「ウェイトプリーズ」と言ってサービスの開始を待ってもらう。ノットレディ、も同様。

* 試合球が出てしまって見つからなかったら、同程度摩耗したセットボールで代用する。

* そのほか、状況によって、「タッチ」、「ノットアップ」、「ファウルショット」、「ヒンダランス」とコールして処理をする(コールされた選手は失点する)。

(例1: ボールがアウトする前に相手選手の衣服に触れたら「タッチ」; 例2: ツーバウンドで返球したボールがネットを越えたら「ノットアップ」; 例3: オーバーネットでボレーをしたら「ファウルショット」; 例4: まだポイントが決まっていないのに選手が大声で「カモ〜ン！」と叫んだら「ヒンダランス」。)

・試合終了

* 最後のポイントが決まって試合が終了したら、例: 「ゲーム、セット、アンド マッチ、中村 9-8」とアナウンスする。タイブレークの中身は言わなくてよい。

* 選手と握手をして(自分から手を出して握手を求めない)ただちに審判台から降りる。スコアカードを仕上げて競技デスク、あるいはレフェリーに提出する。